

令和元（2019）年度 「住まいとコミュニティづくり活動助成事業」
（住まい活動助成部門） 中間報告

団体名

はならあと宇陀松山実行委員会

活動のテーマ

甦れ文化の中心-伝建地区内に残る芝居小屋「喜楽座」の保存と継承に向けた地域活動

9月までに達成できた事項(箇条書き)

- ・ 喜楽座・旧尚文堂書店の大片づけ・大掃除
- ・ 建造物および史料の専門家招聘・喜楽座の状況調査
- ・ 専門家を交えた地元関係者および建築士会との交流会にて、現段階にて得られた知見を共有。
- ・ プレイベントとしての落語会の実施
- ・ コンスタントな情報発信（ニュースレター発行、1～4号）

今後の活動予定と令和2年3月末時点の達成予定項目

10月18日～20日、25日～27日 はならあと宇陀松山 イベント本番
11月～12月 イベント後の片付け、地元住民やアーティストへの聞き取り、資料整理等
2月15日 はならあと宇陀松山 報告会の開催
3月末 喜楽座を活用するための組織の立ち上げ

- ・ 喜楽座をアートイベントで一般公開し、今後の活用に関する実例を多くの人に見てもらう
- ・ 将来の活用に向けて、どのようなものごとが必要かを様々な立場の人と議論する
- ・ 喜楽座の価値を裏付けるための資料渉猟、整理を行う
- ・ これからの運営方法について、アイデアを出し合い実践するための組織をつくる

甦れ文化の中心 -伝建地区内に残る芝居小屋「喜楽座」の保存と継承に向けた地域活動-



はならあと宇陀松山実行委員会



喜楽座の横、尚文堂書店掃除風景



建築士会との現地見学会の様子

奈良県東部の山間地に位置する宇陀市の、かつての中心地として栄えた大宇陀の松山は、商家町として国の重要伝統的建造物群保存地区（重伝建）に選定された歴史的町並みです。

今回の活動の場は、保存地区の真ん中あたりに町家に馴染むように建つ、旧芝居小屋「喜楽座」。町並み保存地区近辺に残る旧芝居小屋はいくつかあるものの、町並み保存地区の真ん中に位置する旧芝居小屋は珍しく、建設の経緯等に興味が湧きます。

全盛期には旅の一座の芝居上演や、映画上映等、周辺地域の娯楽の中心を担っていましたが、テレビの普及とともにその役割を静かに終え、書店の倉庫として使われていました。

書店の事業縮小に伴い倉庫が不要になり、大きな空き家となった喜楽座でしたが、この建物が持つ空間の魅力と立地の良さなど高いポテンシャルを感じた地元有志により、建物の保存活



交流会にて専門家のレクチャーを受ける



喜楽座関連グッズ発見！



落語会の開催



座談会の様子

用が強く望まれるようになりました。2017年に所有者の了承を得て片付けと、予備調査とイベント「はならあと宇陀松山」を実施しました。

今年度の事業では、喜楽座の復活を目指し、建物の応急修理と、魅力的な運用方法を立案するため地元住民、芝居小屋ファン、アーティスト、行政、専門家を巻き込んで活用の仕組みづくりを行うために様々な取り組みを行いました。

活動の概要

1) 喜楽座の価値を明らかにする

6月8日に「全国芝居小屋会議」に所属する文化財建造物調査・史料調査の専門家を派遣頂き、喜楽座の来歴や価値の調査を行いました。

2) 建物を活かして、魅力的な場を創出する

2017年に実施した「はならあと」同様、喜楽座をアーティストに委ねて公開するための準備として、6月から9月にかけて何度も大掃除を実施し、作業の過程で映画ポスターやブロマイド、団扇や座布団など、様々な資料を見つけました。

また、プレイベントとして喜楽座にて落語会と座談会を開催しました。座談会では喜楽座での思い出やこれからの期待を語り合った他、その模様を地元ケーブルテレビに撮影してもらい、イベント本番の10月に放送する予定です。

3) 引き継ぐ仕組みをつくる

今後、喜楽座を残すには抜本的な修理が必要で、運用の仕組みも目途をつけなければ前に進めません。喜楽座の価値を損なわない改修が実施できるよう、調査段階から奈良県建築士会と連携を図るため、6月8日の専門家の調査に合わせてヘリテージ部会の建築士に呼びかけて現地見学会と交流会を行い、専門家が現段階で把握した建物の価値について共有しました。8月24日には、尚文堂書店で中間報告パネルの展示を行いました。

地元住民と大宇陀小学校にはニュースレターで進捗を伝え、9月末までに4号発行しました。

今後の予定

- ・10/8 大宇陀小学校とのワークショップ 実施
- ・10/18～20、25～28
奈良・町家の芸術祭はならあと宇陀松山 開催
- ・11月～12月
片付け、関係者への聞き取り、資料整理等
- ・2/15 はならあと宇陀松山 報告会の開催
- ・3月末迄に 喜楽座活用のための組織設立